

# トワーム通信第50号

医療法人社団松弘会  
介護老人保健施設トワーム熊谷  
埼玉県熊谷市小曾根337-1  
TEL: 048-599-3377

2024年8月発行

## 楽器演奏



デイケアにて、リハビリテーション科も個別レクリエーションとして一部協力させていただいています。今回は、トワーム熊谷では「あんみつ姫」が活動しており馴染みのある「大正琴」を取り入れていることを紹介します。あんみつ姫を聞いて興味を持ってくださった利用者S様が自身でも行ってみたいとマイ琴を準備して下さったことがきっかけの1つともなっております。「楽器演奏」と称しまして、月1-2回ハンドベルとの合同練習をしております。S様より自宅では中々進まない練習も他者と一緒に行うことで楽しく行えるとのこと。大正琴の伴奏に合わせて行うハンドベルも素敵な音色を奏でてくれます。写真にあるハンドベルは通常の鳴らし方だけではなく上から叩くだけでも音が鳴るようになっていて、どなたでも参加しやすくなっております。今後、練習を重ね、簡易的な発表会を行いたいと思っています。楽器演奏にて、指先の運動やリズムに合わせて反応する、脳トレの一環といった形でリハビリも兼ねることが出来ると考えております。



「アツイぞ熊谷！」で有名なここ熊谷。いよいよ夏本番！！そんな暑さも味方につけた、夏ならではのレクリエーションをデイケアでは企画♪まずはビアガーデン！当施設自慢の事務長お手製のピザ窯でピザと焼き鳥を焼き、ビールにワイン(もちろんノンアルですが…)、カルピス・サイダーでみんなで乾杯☆中庭で採れたアボカドも焼いたところ、「初めて食べたけど美味しいね♡」と、とても好評でした。この日は少し汗ばむ程度の良い天気。「ビールが美味しい！」「サイダー懐かしいね！」と、たくさんの笑顔が見られました。その他、手作りおやつでは「あじさいパフェ」を作ったり、水代わりゲーム・ピンポン玉コロコロゲームなど、新ゲームも増え、お客様にも大変楽しんでいただいております。



デイケアのレクは盛りだくさん！！

## トワーム熊谷 栄養課便り



### 4つの食形態



トワーム熊谷では、主に4つの食事形態があり、利用者様に合わせて提供しております。実際に召し上がっていただき、「もっと固い御飯が食べたい」「噛み応えのあるものに変えたい」「食べやすく柔らかいものにしてほしい」など、ご要望がありましたら、一度ご相談下さいませm(\_)\_m

## ご提出のお願い

8月1日付で下記の証書が新しくなっております。入所されている方は、役所より届きましたら速やかにご確認いただき、事務所窓口へご掲示・ご提出をお願いいたします。

- ①後期高齢者医療被保険者証
- ②後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証
- ③介護保険負担割合証
- ④介護保険負担限度額認定証

※②④は対象者の方のみ

## 笹の葉に思いを乗せて…☆彡

7月7日の七夕に向けて、今年も七夕飾りを制作しました。利用者様一人一人、思い思いの願い事を短冊に乗せて…☆彡



- ・毎日を元気に生きたい
- ・体調が良くなり、脳の働きも良くなるように
- ・災害のない良い夏でありますように
- ・おでんが食べたい
- ・生ビールが飲みたい
- ・素敵な彼に出会えますように

今年の七夕はお天気も良く星も見えたので、織姫と彦星は逢う事ができたでしょうか♡皆様の願いが叶いますように！

## ご入所されている皆様へ

当施設では怪我防止の為、夏場であっても長袖の衣類を着用して頂いております。引き続き衣類を補充される場合は長袖の物をご用意して頂くよう、ご理解・ご協力の程お願い申し上げます。



## 施設長 矢島の独り言

7月3日に新しいお札が発行されました。新一万円札の顔に渋沢栄一(1840~1931、91歳没)が選ばれました。なぜ渋沢さんなのか。500以上の会社に関わり「日本資本主義の父」といわれることは広く人口に膾炙していますが、「日本を良くしたい」という思いが強かったことはあまり知られていないような気がします。

彼が関わった会社を見ればそれがよく分かります。まず、銀行で多数の人から少額を集めて大きな資本とし、当時必要と考えた、エネルギー(石炭、電力、ガス)、輸送(鉄道、郵船、運輸)、紡績、鉱業(セメント、煉瓦)などの会社を、人材を集めて起業しました。経営が軌道に乗ると社長は人に任せて、情報を開示する開放的経営を行いました。

商売で儲けようと思ったら「道徳に反することでも仕方ない、慈善事業じゃないから」と考えがちですが「社会全体が利益を得る経営」を行って、利益を社会に還元する必要性を説きました(道徳経済合一説)。実際、彼は事業で得た利益はほぼ全額次の新しい事業に投資することを繰り返して手元に残るお金は僅かでした。

大正5年(栄一76歳)、談話をまとめた「論語と算盤(そろばん)」が出版されました。「論語(道徳)と算盤(経営)を一致させること」が極めて大切だと言っています。それは「よい金儲け」で、道徳を無視して金儲けに走るの、「悪い金儲け」ということです。

最近、新自由主義(サッチャー、レーガン、小泉純一郎)が喧伝されて国富や金儲けのためには何をしても良いという風潮が蔓延していますが、「論語と算盤」の逆をいっています。新自由主義では自由な経済競争を促し、派遣労働の自由化を行いました。まさに昨今は道徳を無視して金儲けを国が勧めている時代で、渋沢さんがお札の顔になる意味は大きいと思います。

蛇足ですが、司馬遼太郎の「坂の上の雲」(文春文庫[3] p141)には、渋沢さんが財界をまとめて日露戦争の戦費調達に貢献したことが書かれています。渋沢さんがいなければ日本の一部または全部がロシアの領土になっていた可能性大です。

